

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	27	介護日誌への日々の様子やケアの実践・結果・気づき等の記入に工夫が必要である。	本人・家族の思いや会話の内容等をそれぞれの言葉で記入する事で、更なる情報の収集と共有に結び付け、より良いケアにつなげる。	介護日誌の書式を変更したが、その書式や記入内容について検討の余地があるため、引き続き全職員で情報の共有や勉強を行う。	12ヶ月
2	38	認知症の進行に伴い、自らの訴えが減少している入居者が増加していく中で、スタッフの知識や技術の不足により、個々の能力や残存機能を引き出すことが十分に出来ていない。	個々の入居者のレベルに合わせてADLやQOLの向上を図る。	認知症高齢者に合ったレクリエーションの勉強会や施設内研修を行い、知識と技術の向上を図り、生きがいを持ち、日々楽しめる時間が提供できるようにする。	12ヶ月
3	14	法人内の交流はあるものの、他のグループホームとの相互交流がないため、同業者としての情報の共有やサービスの質の向上につなげにくい。	同業者とのネットワーク作りや相互訪問等を通じてお互いのサービスの質の向上につながる。	他のグループホームと相互の連絡を取り合い、見学や運営推進会議の出席を図ったり、サービスの質の向上に向けた取り組み等を共有する。	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目の を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。